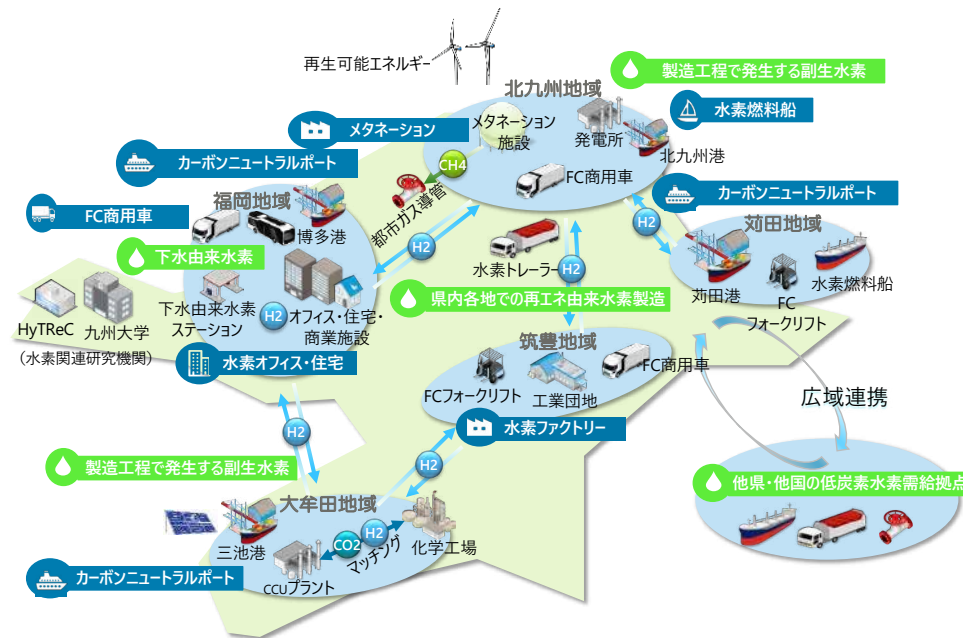


## 水素サプライチェーンの構築

### 福岡県の強み

- 1 エネルギー安全保障上の利点を有する日本海側最大の拠点
- 2 水素供給面で多様な水素のベストミックス
- 3 大規模な水素需要のポテンシャル
- 4 九州大学をはじめ、情報収集からビジネス展開まで一貫した支援体制を整備



福岡県が「燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域」の「中核地方公共団体」として選定されました!!

- 福岡県はFCモビリティの普及に関して全国の自治体でもトップクラスの導入支援を車両・水素ST双方に実施しております。
- これらの取組が評価され、25年5月に国の「燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域」の「中核地方公共団体」に全国6都県の一つとして選定されました。



### FCモビリティの主な実績

- FCトラック20台 (給食配送車3台・ごみ収集車3台)
- 救急車1台実証導入
- 日本初となるハイブリッド型FC船の商用運航
- 県庁水素ステーションを含む8箇所を整備 (全国4位)

(2026年7月現在)

### 〈福岡県内の水素ステーション〉

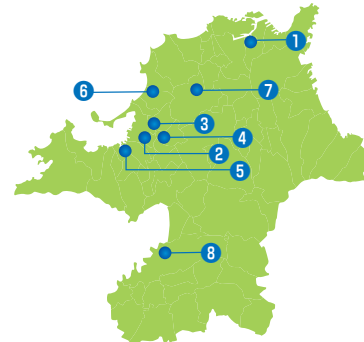
#### 用地確保の支援

候補地の紹介から  
地権者との交渉まで  
一貫したサポート

#### 資金面の支援

国の補助金に加え、  
県独自の補助金により支援

- 1 イワタニ水素ステーション小倉
- 2 イワタニ水素ステーション福岡県庁
- 3 Dr.Driveセルフ福岡空港店水素ステーション
- 4 Dr.Driveセルフ太宰府インター店水素ステーション
- 5 福岡市水素ステーション
- 6 Dr.Driveセルフ古賀店水素ステーション
- 7 福岡宮田水素ステーション
- 8 水素ステーション久留米



# 福岡県水素 グリーン成長 戦略会議

## 産学官連携で 福岡県を水素社会の フロントランナーに

福岡県は2004年に全国に先駆けて水素の産学官組織を設立し、取組を開始しました。産業分野を含めた社会全体の脱炭素化に向け、環境施策を経済成長につなげるため、水素による「グリーン成長」を図る取組を進めます。



## 福岡県水素グリーン成長戦略会議

- 設立** 2022年8月2日  
(前身組織2004年8月3日～)
- 会長** 佐藤 直樹 (日本製鉄株式会社)
- 副会長** 藪ノ 成仁 (岩谷産業株式会社)  
藤山 優一郎 (ENEOS株式会社)  
早田 敦 (九州電力株式会社)  
岩原 信隆 (トヨタ自動車九州株式会社)  
佐々木 一成 (九州大学)
- 顧問** 服部 誠太郎 (福岡県知事)  
星野 光明 (九州経済産業局長)  
番匠 克二 (九州環境局長)  
武内 和久 (北九州市長)  
高島 宗一郎 (福岡市長)  
石橋 達朗 (九州大学総長)

- 幹事長** ● 日鉄エンジニアリング株式会社
- 副幹事長** ● (公財) 水素エネルギー製品研究試験センター
- 幹事** ● 岩谷産業株式会社 ● 九州大学  
● 九州電力株式会社 ● サステナブル水素研究所  
● 西部ガス株式会社 ● 佐賀大学  
● 清水建設株式会社 ● 九州経済産業局  
● ENEOS株式会社 ● 九州環境局  
● 電源開発株式会社 ● 福岡県  
● トヨタ自動車九州株式会社 ● 北九州市  
● 株式会社本田技術研究所 ● 福岡市  
● 三菱重工業株式会社  
● パナソニックエレクトリックワークス株式会社

**会員** 957企業・機関

(2026年7月現在)

# 新戦略 2つの視点



## 福岡県水素グリーン成長戦略

# 1 「水素」の巨大市場形成と、 「カーボンニュートラル」の流れを受け、産業政策を展開

- 「水素」を巡り、160兆円の巨大市場が出現。成長産業として位置付け、この分野への参入支援策が必要
- 県内製造業においても「カーボンニュートラル」への対応が不可欠に。水素技術の導入支援が必要

# 2 「グレー水素」から「ブルー水素」、 そして「グリーン水素」へ

- 「2050年カーボンニュートラル」を受け、今後、「グレー水素」から「ブルー水素」、そして「グリーン水素」へのシフトが進む。
- 再エネ先進地域である強みを活かし、「グリーン水素」分野へ取組を重点化する。

## 新戦略 3つの柱

### 1 水素製造・供給のイノベーション

グリーン水素の普及に向け、水素製造・供給の低コスト化・多様化が必要

#### 【取組事例案】



#### 水素サプライチェーンの構築

福岡県を中心に水素サプライチェーンの基盤を構築する。  
また、様々な手法で製造可能な水素の特性を活かして、県内各地における地産地消の水素供給網構築に向けた事業可能性調査を支援



#### 海外との水素分野における産官学 交流の推進

MOUを締結した豪州NSW州等で開催される展示会への出展支援や現地企業との商談会を実施



### 2 水素利用の拡大

トラックやバス、行政車両など、新たな水素利用分野の拡大

#### 【取組事例案】



#### 大規模水素ステーションの整備

大型トラック・バスに対応した大規模水素ステーションの整備を支援



#### ディーゼル同等負担での水素商用車 導入促進

全国でもトップクラスの燃料電池商用車等の導入支援と燃料費の補助を実施



#### 地域交通やごみ収集車のFC化

地域に根差したモビリティへの水素導入を推進



### 3 水素関連産業の集積

成長分野である水素関連産業の集積を図ることが必要

#### 【取組事例案】



#### 「福岡県水素グリーンイノベーションサポート窓口」の運営

県と九州大学が連携し、①水素関連産業への参入、②水素技術の導入、③産学官連携による社会実証プロジェクトの企画・調整など、水素分野の相談にワンストップで対応する



#### グリーン水素関連の

#### 新製品開発を支援

水素関連製品の開発費用の助成や展示会出展による販路拡大を支援

#### ■製品開発助成例(一部)



#### 水素関連産業に係る人材の育成

オンデマンド配信による講座や施設見学により、参入企業の創出・技術者の育成を、「水素エネルギー人材育成センター」で実施  
また、人材のすそ野の拡大を目的とし、中高校生を対象としたバスツアーを実施

## 福岡は最先端の研究・試験機関が集積する「水素」の先進地域です

### 九州大学サステナブル水素研究所

基礎研究から応用・実証研究までを一体的に展開。  
産学官と地域が連携する水素エネルギーの世界トップレベルの教育・研究拠点。  
各部門の強みを生かし、低炭素社会の実現に貢献しています。

#### ■ 水素製造研究部門

低コストなグリーン水素製造に向けた触媒・電気化・光プロセス等の研究開発

#### ■ 水素輸送・貯蔵研究部門

金属・高分子材料、水素物性、評価法・評価基準、機械学習等も活用した安全・信頼性基盤の構築

#### ■ 水素利用研究部門

燃料電池等の水素利用技術の高度化、材料・デバイス・システム研究、モビリティ等への展開

#### ■ 連携研究部門

水素製造・輸送・貯蔵・利用を統合したエネルギーシステム設計、実証、社会実装の推進

### 水素エネルギー製品研究試験センター (HyTReC)

HyTReCでは世界最高性能の設備で水素製品の試験が可能です。

水素関連製品の性能や信頼性を評価する第三者機関として、中小・ベンチャー企業等の研究開発・製品試験を支援しています。



大型水素容器の膨張量を測定

#### ■ 水素関連製品の公的試験機関

#### ■ 試作品等

- ガスサイクル試験
- 破裂試験
- 液圧サイクル試験
- 膨張量測定 等



水素ガスを使用した耐久試験を実施

### 戦略会議支援事業

#### 水素の製造・利活用

##### ■県内での水素製造支援

地産地消型水素プロジェクト組成のためのコスト試算、水素需要量等の調査を支援  
最大1,000万円(補助率1/2)

#### 海外とのビジネスマッチング

##### ■海外展示会出展支援

オーストラリアで開催される水素関連産業展示会への出展を支援



#### FCモビリティ導入

##### ■車両導入補助

既存トラックの水素エンジンへのコンバージョン  
1台あたり最大1,500万円

##### ■燃料費補助

FC商用車の運用に係る燃料費(水素価格と軽油価格の差額)を補助  
最大480万円

#### 水素ステーション

##### ■運営費補助

FC商用車の受入台数に応じた水素ステーションの運営費用を補助

##### ■インフラ事業者募集

九州初の大型FC商用車向け大規模ステーションを県とともに整備検討するインフラ事業者を募集

#### 参入支援

##### ■アドバイザー派遣

水素分野への参入や水素利活用について、大手メーカーOB等のアドバイザーによる助言を実施  
<アドバイザー>

橋本 登氏(パナソニック(株)OB)  
大仲 英巳氏(トヨタ自動車(株)OB)  
小出 啓介氏(川崎重工業(株))

##### ■製品開発支援

産学官連携チームが行うシーズ技術の可能性調査及び本格的な製品開発を支援  
【可能性調査枠】最大500万円(補助率1/2)  
【事業化研究枠(3年間)】最大2,500万円(補助率1/2)

##### ■展示会出展支援

水素関連製品の販路を拡大するため、FC EXPOへの出展を支援